



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 クリエイトメディック株式会社
コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総合企画部長 (氏名) 橋井 敦

TEL 045-943-2611

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	2,027	11.0	76	—	79	—	68	—
24年12月期第1四半期	1,826	△7.5	△84	—	△81	—	△53	—

(注)包括利益 25年12月期第1四半期 359百万円 (295.1%) 24年12月期第1四半期 90百万円 (6.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	7.15	—
24年12月期第1四半期	△5.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第1四半期	16,999	11,653	68.6	1,211.81
24年12月期	16,501	11,467	69.5	1,192.47

(参考)自己資本 25年12月期第1四半期 11,653百万円 24年12月期 11,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	15.00	—	18.00	33.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	15.00	—	18.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,596	3.4	236	△32.2	230	△31.0	128	△29.9	13.31
通期	9,600	2.9	862	16.5	858	△6.6	555	8.3	57.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	9,664,327 株	24年12月期	9,664,327 株
25年12月期1Q	47,711 株	24年12月期	47,607 株
25年12月期1Q	9,616,681 株	24年12月期1Q	9,616,748 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8
(5) セグメント情報等	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな金融政策や経済政策への期待を背景に円安や株価が上昇し、景気は緩やかに持ち直しました。

当医療機器業界におきましては、引き続き市場での価格競争が進行しており、業界をとりまく環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは、国内販売部門では人事・組織変更を行い主力製品の販売強化に注力いたしました。また、OEM事業については新規受注の強化を図るとともに、海外での販売は主に中国市場に重点をおいてまいりました。一方、利益面については、海外工場での部資材内製化などにより原価上昇を抑えるとともに、販売管理費の抑制にも努めてまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の売上・利益は、前年同期と比較して増収増益となりました。

次に売上の概況を販売形態別にご報告いたします。

< 自社販売 >

自社販売では、売価下落の傾向に変わりはありませんが、数量増加により1,345百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

製品系統別の要因は次の通りとなります。

泌尿器系製品は、キットを含むフォーリーカテーテル、腎盂バルーン、セフティカテ（自己導尿カテーテル）、採尿バッグなど全般的に増加いたしました。

消化器系製品は、イレウスチューブの数量は順調に増加し、胃瘻関連の製品も数量が回復してまいりました。

外科系製品は、PTCDキット、内視鏡下手術関連製品、気管切開チューブが順調に増加いたしました。

血管系製品は、主にマイクロカテーテルが売価下落の影響を受けて減少いたしました。

看護・検査系他製品は、ドレープ系製品が減少しましたが、注腸検査用のチューブや組織採取用の製品は順調に増加しました。

< OEM販売 >

OEM販売ではエクステンションチューブと血管造影関連製品の受注が伸びたことにより387百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

< 海外販売等 >

海外販売等ですが、欧州では全般的に数量が伸び悩み減少いたしました。一方、中国での販売は循環器系製品の追加投入や泌尿器系製品、消化器系製品など全般的に大きく伸びました。その結果、海外販売等の売上は294百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

また、当連結会計年度の製品系統別の売上高は、次の通りです。

泌尿器系製品の合計は、	561百万円（前年同期比14.2%増）となりました。
消化器系製品の合計は、	653百万円（前年同期比9.4%増）となりました。
外科系製品の合計は、	242百万円（前年同期比6.7%増）となりました。
血管系製品の合計は、	382百万円（前年同期比12.9%増）となりました。
看護・検査系他製品の合計は、	188百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

一方、利益の増加要因につきましては、自社販売、OEM販売、中国での販売が大きく伸びたことと部材内製化による原価低減、円安効果が寄与したものでございます。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,027百万円（前年同期比11.0%増）、売上総利益954百万円（前年同期比19.7%増）、営業利益76百万円（前年同期は営業損失84百万円）、経常利益79百万円（前年同期は経常損失81百万円）、四半期純利益68百万円（前年同期は四半期純損失53百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して498百万円増加し16,999百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少340百万円に対して、有価証券の増加200百万円、商品及び製品の増加250百万円、機械装置及び運搬具の増加206百万円が主な要因です。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して313百万円増加し5,346百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加157百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加54百万円、賞与引当金の増加79百万円が主な要因です。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して185百万円増加し11,653百万円となりました。これは、利益剰余金の減少104百万円に対して、為替換算調整勘定の増加256百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月12日の「平成24年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更及び耐用年数の見直し)

当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を定額法へ変更しております。

当社グループのグローバル展開の進展を契機に、国内生産設備の稼働状況や今後の見通しについて検討した結果、長期的且つ安定的に稼働し、収益獲得に貢献することが見込まれることから、減価償却方法についてグループの会計方針を統一し、定額法を採用することが適切であると判断いたしました。

また、当社の保有する有形固定資産について使用実態等の調査、検討を行った結果、当第1四半期連結会計期間より一部の耐用年数を見直しております。

以上の変更により従来の方法と比べて当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,574千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,826,337	2,942,845
受取手形及び売掛金	3,503,807	3,163,304
有価証券	709,925	909,940
商品及び製品	1,559,006	1,809,966
仕掛品	574,165	659,951
原材料及び貯蔵品	552,251	641,998
繰延税金資産	113,310	125,015
その他	156,462	165,383
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	9,994,266	10,417,406
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,092,423	2,174,192
機械装置及び運搬具（純額）	422,503	628,603
土地	1,485,088	1,485,088
リース資産（純額）	40,720	35,485
建設仮勘定	232,751	124,096
その他（純額）	128,117	147,394
有形固定資産合計	4,401,605	4,594,861
無形固定資産		
借地権	148,270	160,408
その他	28,000	26,275
無形固定資産合計	176,271	186,683
投資その他の資産		
投資有価証券	1,439,700	1,291,887
繰延税金資産	350,790	358,645
その他	138,386	150,420
投資その他の資産合計	1,928,876	1,800,953
固定資産合計	6,506,753	6,582,498
資産合計	16,501,019	16,999,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,036,583	1,193,869
短期借入金	1,045,000	1,045,000
1年内返済予定の長期借入金	86,580	141,075
リース債務	19,206	18,023
未払法人税等	109,282	86,163
賞与引当金	30,803	110,768
役員賞与引当金	12,400	3,100
その他	481,062	499,879
流動負債合計	2,820,917	3,097,879
固定負債		
長期借入金	979,220	999,425
リース債務	23,550	19,236
退職給付引当金	1,022,074	1,037,853
役員退職慰労引当金	184,659	189,046
資産除去債務	2,982	2,998
固定負債合計	2,212,487	2,248,559
負債合計	5,033,404	5,346,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,527,011	8,422,653
自己株式	△34,381	△34,465
株主資本合計	11,440,387	11,335,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,274	52,763
為替換算調整勘定	7,952	264,756
その他の包括利益累計額合計	27,227	317,520
純資産合計	11,467,615	11,653,466
負債純資産合計	16,501,019	16,999,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	1,826,447	2,027,656
売上原価	1,028,867	1,073,076
売上総利益	797,580	954,579
販売費及び一般管理費	881,809	878,491
営業利益又は営業損失(△)	△84,229	76,088
営業外収益		
受取利息	1,748	2,350
為替差益	4,423	2
保険配当金	1,842	1,783
その他	3,349	3,771
営業外収益合計	11,364	7,907
営業外費用		
支払利息	4,736	3,796
手形売却損	150	—
金利スワップ評価損	1,533	—
その他	2,204	651
営業外費用合計	8,624	4,447
経常利益又は経常損失(△)	△81,489	79,548
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△81,489	79,548
法人税、住民税及び事業税	24,683	48,674
法人税等調整額	△52,756	△37,869
法人税等合計	△28,072	10,804
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△53,417	68,743
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△53,417	68,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△53,417	68,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,522	33,488
為替換算調整勘定	133,763	256,803
その他の包括利益合計	144,286	290,292
四半期包括利益	90,869	359,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,869	359,036
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。